

学 園 通 信



No. 255

九里学園高等学校 P T A

2013. 7. 19 発行



● 特 集 「国際交流」

- 対談：P T A 会長・各学年部長
- 学年行事

International Exchange

セント・ジョーンズベリー・アカデミー(アメリカ)
ザ・リベリーナ・アングリカン・カレッジ(オーストラリア)

Welcome to KUNORI GAKUEN

オーストラリア人生徒との交流

二度目の国際交流

三年一組 渡邊 久弥

私は昨年の十二月に研修旅行でオーストラリアへ行きました。そして今年四月にTRACの生徒のホームステイをひき受け、二度の国際交流を経験しました。違う言葉を話す人達との交流で初めは戸惑いもありましたが、一緒にいるうちに自然とコミュニケーションがとれました。普段はできない、貴重な体験ができました。



私は今回ホストスチューデントをひきうけました。昨年オーストラリアへ行ったときは最初は上手く話せるか不安でした。でも、英語を話せるかどうかではなく国境を越えて、話す言葉が違っても、笑顔であれば心が通じ合うということを学びました。そして、日本に私のホストだったジュリアが来て再会できたことを本当にうれしく思います。また、みんなと一緒にオーストラリアへ行きたいです。

ジュリアとの再会

三年三組 高橋志緯菜



アメリカ人生徒との交流

初めてのホストステューデント体験

三年四組 高橋 阿子

国際交流というとし難しいイメージがあり、私も初めは不安でした。しかし、この三日間のホームステイを通して、私たちはもっと海外のことに関心を深めるべきだと思いました。センジエーの生徒は礼儀正しく、お互いの単語やジェスチャーで意思を伝え合うことができ、とても勉強になりました。みんなにもこの経験の素晴らしさを知ってもらい、積極的に国際交流に参加してもらいたいです。



国際交流を体験してみて

三年一組 二関 直也

初めは言葉が通じず大変でしたが、身振りやアプリを活用して何とか話げできました。今回の体験の中で、普段自分たちが何気なく食べているものをベンジャミンたちは初めてだったり、口に合わなかったり、食文化の違いを感じました。また、国際交流のいいところは、外国に友人ができることはもちろん、コミュニケーションを取ろうと積極的になっている自分を発見できたことでした。



国際交流について

国際交流課長 鈴木 精

今年四月に二つの姉妹校からの生徒達を受け入れました。一つは毎年恒例のアメリカ・セントジェーンズベリー(以下 St.J)の生徒達で、もう一つは隔年で来校するオーストラリア・ザリベリーナングリカンレッジ(以下 TRAC)の生徒達です。St.Jの生徒達は毎年恒例と言うこともあり、プログラムも充実した中身の濃い交流が生まれました。TRACは既に昨年度の本校の研修旅行で互いに友好関係を築き上げており、今回は再会を果たし、旧友を温めつつ新しい交友関係を作っておりました。どちらも言葉と国の垣根を越え、昔からの友人であるかのようになり、また、兄弟であるかのように理解し合い、過ごしている様子を見ると、私たちが望む真の相互理解の第一歩を踏み出している実感することが出来ます。歓送迎会では生徒達が一緒にあって満面の笑顔で歌を歌う姿に、なんと素晴らしい高校生活を送っているのだとすらやましくも感じました。いい青春の一頁を刻むこの交流プログラムをもっと大切にしていこうと思います。



PTAの在り方について

今回は、PTA会長の金子さんと各学年部長さんにお集まりいただき、九里学園保護者としていくつかのテーマで対談していただきました。

——(進行) まず初めに、みなさんから見て、九里学園のいいところはどんなところか教えてください。



PTA会長 (以下「金子」)
とにかく、親としては子どもが「楽しい」と言っている学校に行ってくれていれば満足ですね。



一学年部長 齋藤さん (以下「齋藤」)
それに九里は私立ですから、公立の高校と比べると、先生の個性があつていいと思います。



三学年部長 片倉さん (以下「片倉」)
中学にはない授業、また他の高校にはない九里独自の教科目、自由選択制がある、これが子どもにとってとても楽しいようです。先生方の面倒見もいいと感じています。



二学年部長 松山さん (以下「松山」)
一人ひとりの生徒に対する責任感を感じますよね。本音で生徒に接している感じがいいです。

(片倉) 公立と私立の違いですかね。九里学園では、校長先生のカラーをいたるところに感じます。

(金子) また各線先生に個性があるので、全体としても九里のカラーを大事にして「九里イズム」といったものを發揮して欲しいです。そのためにも、PTAがサポートしていく必要があると思います。

(片倉) 私は、小中と役員を引き受けしてきましたが、高校生になると親の学校への関わり方が浅くなるように感じます。

(齋藤) 行事も減るし、親が参加しなくてはならない場が少なくなってきましたからね。

(片倉) 支部活動にも差があるようです。高校になると保護者が出てくるのでしょうか。

(松山) 子どもが思春期になって大人になりますし、学校まかせになりがちですね。

(齋藤) なぜか高校になると、今まで役員をやっていた保護者の方たちも遠慮してしまいがち。

(松山) 親はきつと学校での様子を知らたいし、機会があれば出てきたいけれど、子どもが嫌がるケースもあります。だからこそ、違う方法で保護者には出てきてもらいたいですよね。

(金子) そのためにも、クラスマッチや体育祭の給水ボランティアを通して、保護者は保護者で盛り上げられる機会をこれからも設けていきたいんですよ。

(松山) 金子さんは、保護者参加の新しいやり方をつくったんですね。

(金子) 本来PTAの会議は、緊急事態

や問題発生のあるものだから、そういう意味では何もないのが安心・安全ということですからね。

(齋藤) そうそうその通り。でも親としては子どものために何かしたいし、関心を持ちつつ、親も楽しみたいんですよ。

(松山) 子どもの成長を見ていたいですよ。

(片倉) 役員としてというより、親としてですよ。他の保護者の方を見ていても、PTA総会の出席より、九里祭や体育祭の方が見に来ますよね。

(片倉) また、役員になると他の保護者の方との出会いがあります。

(齋藤) あとは先生とも話がよくできる。子どもの様子はもちろん、学校全体の様子もよくわかるので、メリットは大きいです。

(片倉) そうですね(笑)。校長先生や担任の先生と直接たくさん話せるということも、役員の特権ですよ。

(松山) 子どもに関する情報が集まるということですよ。もう一つは、親は自分の子どもばかり心配になるので、自分の保護者の方の話の聞いて、安心することも多いですよ。「うちだけじゃないな」と。

(片倉) それに、子どもは子ども同士で学校生活の中で友人ができていくように、親は親同士で、新たに友だちになれますよね。

(一回) 本当ですね(笑)

(片倉) 子どもを中心にした、親と学校との三角形が大事だと感じます。

(金子) 高校になると保護者同士の関わりが減って、一人悩む保護者の方もいるはず。だから、どんな保護者の会に参

加してもらって親は親で楽しむつながりをもつ！それを感じてほしいですね。

(齋藤) 子どもを通して、親同士が主体的に参加しやすい場をつくっていくといいですね。

(金子) 子どもとの距離感をもって見つめるのが、小・中学校とは違い、高校では大切なかもしれません。学年ごと

のPTA在り方も考えていきたいですね。——では、最後にPTAの役員としてのお立場から、どんな学年PTAを目指したいですか？

(金子) 欠席される保護者の方は、理由の一つが「他の保護者を知らないから」ということだそうですね。そういうことのないよう、保護者同士も知り合える機会を作っていきたいと考えています。

(齋藤) 一学年ではそういうことを踏まえ、クラスごとのコミュニケーションも重視し、親子行事を考えています。

(松山) 二学年は中間学年として、三年生になるための準備を後押ししていける保護者団を目指したいですね。三年生で子どもたちが飛躍するための準備と後押し、そして自信をもたせるために団結したいです。

(片倉) 三年生は、そこから考えるとまさに飛躍の年。保護者同士もいい形で卒業を迎えられるよう、全力で応援したい。そうなる学年を目指したいですね。

——様々な意見ありがとうございました。保護者の方々の意気込みに負けないよう、学校側も一緒にタッグを組んでいきます。

宿泊ホームルームを通して

三年一組 太田嵐太郎

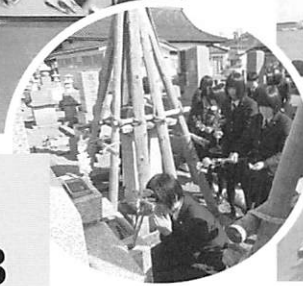
宿泊ホームルームのリーダーを経験して、集団をまとめることの大変さを感じました。しかし、一年生が自分で考え、行動している姿は、とても頼もしく思いました。一年生だけでなく、自分も人として成長することができた活動でした。これからの学園生活でも、三年生として後輩達に手を差し伸べていきたいと思っています。

三年生 リーダーからの感想

START

三年四組 石塚 成爽

行事前、一年生には「個」が感じられました。しかし、レクリエーション、ご飯、掃除などの中で楽しみつつ、やることはやる「集団」が見えはじめました。同級生だけでなく、私達にも積極的に話しかけてくれてリーダー自身も純粹に楽しめました。行事を通し、一年生は高校生としての自覚を持ち、いいスタートがされたと思います。



宿泊HR
4/10~4/13

校長先生より

宿泊ホームルームで めざすもの

三十五年以上も前から、一年生の宿泊HRを実施してきました。今は男子寮となっている旧「生徒館」がその合宿の舞台でした。先輩から新入生に、九里学園がめざす教育の内容の「協同和楽」や「礼と譲」のめざすものを伝え、学校生活のスタートを切ったのです。当初は三泊四日、最終日には、保護者も一緒にカレーライスを食べながら、これからの学園生活に夢を馳せたものです。今はわずかな日程で行っていますが、そこで伝える基本姿勢は同じです。



学年行事(一年) 旧街道トレッキング 5/31

トレッキングで学んだこと

一年一組 佐藤 拓実



僕は、トレッキングで、あきらめないということを学びました。トレッキングでは、ひたすら歩いたので、休みなくなったり、やめなくなったりと、色々な感情が出てきました。しかしこういった気持ちに負けないで、歩き切ったことで、学ぶことができました。これは将来とても重要になるので、大切にしていきます。



一丸となつての達成感

一年三組 設楽 惟

五月三十日晴天の中、トレッキングを経験しました。初めての学年行事で気持ちは遠足気分でのスタートでした。足元も悪く日陰もなく賑やかだった皆の言葉は少しずつ減り、入学から間もない仲間との声かけや助け合いとなりました。心をついに一丸となり私達はゴールしました。疲れと達成感で満ちた時間となりました。

トレッキングを振り返って

一年四組 熊島 春華

五月三十日、板谷旧街道、約二十キロの道のりをトレッキングした私達の達成感はとても大きなものとなりました。全員が完歩することは出来ませんが、仲間と助け合い励まし合いながら団結力を深めることができました。この行事でつけた力を、これからの学校行事にかし頑張りたいと思います。



5/30

ユニバーサル男子クラス 伝統を受け継ごう！一年男子植樹

一年二組 佐々木 健人

学校林の緑をこれからの未来へ残さなければいけない。先輩達が植えた木々の成長をみて、そう思った。そんな気持ちで植樹を行った私達一年生男子はしっかりと今までの伝統を受け継ぐ事ができた。業者の方などの協力ですムーズに作業を進行することができ、感謝の思いで一杯だった。貴重な体験になりました。

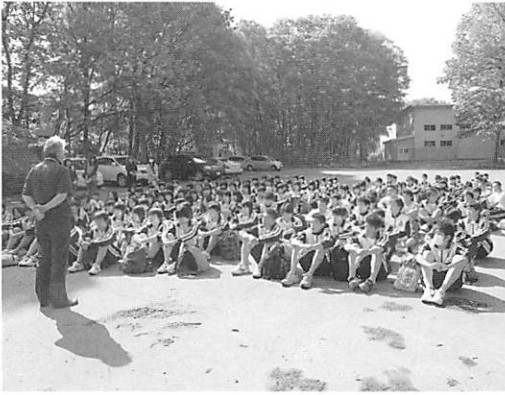


5/30

ユニバーサル女子クラス
施設訪問を通して

一年五組 中村 美紀

私は栄光園を訪問させていただきました。最初に施設の窓ガラス拭きをし、少し疲れましたが、きれいにすることができてよかったです。その後、利用者の方と一緒にダンスやゲームをして、みんなと触れ合うことができました。利用者さんと喜んでいただけたことがたいへん嬉しかったです。



5/30

プログレスコース
山工学部見学で学んだこと

一年六組 佐々木 南

山工学部では、講義と研究施設を見学させて頂いた。まず感じたのは、すでに自分は大学受験という大きな壁に直面しているということだった。「まだ一年生だから」という甘えは捨て、将来と、目の前にある「すべき事」について考えなければならぬということと、今から努力した人が夢に近づけるということを実感した。



二年プログレスコース

仙台研修旅行

二年六組 本田 一馬

今回の仙台研修では、大学と、東日本大震災の被災地である東松島市の見学をして来ました。大学見学は今後の進路選択の参考になりました。そして東松島市では、被災地の悲惨な現状を目の当たりにして、地震や津波に恐怖し、自分の無力さを痛感しました。全体としては、楽しくためになる旅行になり、良かったと思います。



将来のヒントをさがしに

二年六組 吉水 舞

宮城に大学見学と被災地の東松島へ行きました。大学見学では、今後の進路を決める良い体験になりました。東松島では、津波で被災した学校や駅を見ました。案内してくださった被災者のお二人のお話は、とても心に残る話ばかりでした。この行事を通して、将来、自分に何ができるのかを考えるヒントが見つかりました。

二学年 登山

男子 5/30~31 東吾妻山

経験を活かして

二年一組 小山田光希

二学年は学年行事で二日間に渡って登山をしました。頂上を目指して登っている途中に天候が悪くなり残念ながら下山となり、歩いて宿舎に向かいました。苦しかったですが宿舎の風呂やご飯で生き返りました。

この学年行事を通じて、男子全員がよい経験をしたと思います。この経験を活かしていきたいです。



登山をして身についた事

二年二組 鈴木 諒

竹股 蓮

二学年男子は吾妻山に登りました。初めは、みんな楽しく登っていましたが、雨も強くなるとても疲労がたまりました。そこから仲間と協力して登るといふ事を学びました。頂上まではいけず、途中下山という形でしたが、普通に登るより良い体験だったと思うので、これからもクラスで協力してがんばっていききたいです。

二年学年行事

女子

5/30~31 猫魔ヶ岳

登山

二年三組 中山 汐里

今回の学年行事で初めて本格的な登山を経験しました。急な傾斜がたくさんあり、その日はあいにくの悪天候で雨も降っていました。そんな状況の中で、明るく元気に励まし合いながら最後まで登りきることができました。

学年行事を通して、クラスや学年の団結力が深まったのでこれからの活動に活かしていきたいです。



みんな楽しく登ろうぜ Oh,yeah!

二年四組 植木 真理

学年行事当日。悪天候の中、険しい山道を歩くという過酷なものだったが達成感を強く感じた。夜の集会では各クラス出し物を行いクラス関係なく盛り上がることで本当に楽しかった。この二日間を通して仲間の大切さを学び団結力を高めることができたと思う。この行事をふまえこれからの高校生活に活かしていきたい。

達成感

二年五組 舟山 千夏

私たちは、五月三十、三十一日に猫魔ヶ岳と雄国沼に登山をしに行って来ました。三十、三十一日はあいにくの雨で登りきれぬ不安でしたが、みんなで声をかけあったり、たすけ合いながら登りきることができて、精神的にも身体的にも強くなりました。また友達との仲もさらに深まったのでよかったです。これからの学校生活が楽しみです。



三年生 庄内旅行

庄内旅行から学んだ事

三年一組 伊藤 大貴

自分は庄内旅行に行って庄内の町について、今まで知らなかった事をたくさん知る事が出来ました。

同じ山形県ですが、米沢とは違った有名な場所や食べ物があり、楽しみながらもとても勉強になりました。そして、クラスでさまざまな所に行き、みんなで楽しく二日間を過ごせてとてもいい思い出になったので、この団結力を今後に生かしたいです。



庄内旅行を通して

三年二組 滝澤 直哉

今回、三学年は五月三十、三十一日に山形県の庄内地方の方へ旅行に行ってきました。一日目は天候が悪く、雨という事で羽黒山の階段のほりは中止になり、バスで頂上まで行きました。急な予定変更もありましたが、二日目は天候にも恵まれ、よい体験・見学が沢山でき、良い思い出となりました。

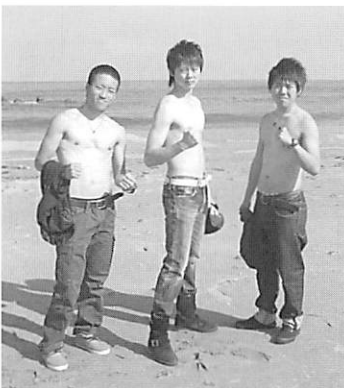


笑いがいっぱいだった庄内旅行

三年六組 古田 七海

庄内旅行では、県内なのに意外と知らなかった所に、クラスのみんなが行ったことで、楽しく見学できました。イカの一夜干し体験では実際にイカをさばくことができ、とてもおもしろかったです。

今回の旅行は県内のことをより知ることができ、クラスの間で笑いながら二日間過ごせたので、とてもいい経験になりました。



庄内の思い出

三年三組 高木 夏美
工藤 綾華

旅行当日、庄内はあいにくの雨だったため石段登りはできませんでした。翌日は晴れて海に行き、みんな楽しい時間を過ごすことができました。私たちのクラスは進学クラスのため酒田の大学見学をしてきました。二日間という短い時間でしたが庄内を楽しむことができ、このクラスでの思い出が増えた旅行でした。



庄内旅行

三年四組 五十嵐友里

私達は五月末に一泊二日で庄内旅行に行ってきました。今年は羽黒山に登る予定でしたが、雨が降りバスで登りました。記念撮影と参拝してから私達は防災館に行き、消火器で火を消したり地震体験をしました。クラスの仲も深まり楽しい思い出ができました。今回学んだ事をこれからの生活に活かし、学校生活を楽しくしていきます。



庄内旅行の思い出

三年五組 横尾 優

雨天の中始まった庄内旅行。私たち五組は羽黒神社で合格祈願をかねた御払いをしてもらいました。クラス別研修では海向寺の即身仏を見たり、湯殿山の神聖な場所に行ったりと、とてもいい経験になりました。庄内旅行を通してクラスの仲間も深まったのでこれからの行事・進路に向けて和美先生と共に団結して高校最後の生活を悔いの残らないよう過ごしていきたいと思います。



スクールカレンダー

- 7/25(木) 進路指導
 8/30(金)～31(土) 九里祭
 9/13(金) 創立記念式典
 県高校新人(陸上)
 9/14(土) 地区高新人大会
 10/18(金) 体育祭、壮行式
 (10/25(金) 予備日)
 11/11(月) 2年国内研修(男子)
 11/12(火) 2年国内研修(女子)
 11/27(水)～29(金)
 定期試験

九里学園制服の歴史



平成六年にも
制服がかわりました



あの時みんな若かった



今から二十数年前には、デザイナーが手掛けた制服は置賜ではめずらしく、他校の憧れの的でした。

現在、生活指導の大滝先生もまだ若く、二十代の数人の先生とバンドらしきものを組んで、生徒から声援を受けていました(笑) あら、なつかしい!! 今年の学園祭でも、是非チャレンジして下さい。卒業生も見に来ま〜す♡

広報委員 渡部 洋子
 (米沢女子高卒) 石川 育美

編集後記

毎日暑い日が続いております。例年になく既に熱中症で体調を崩している人も多く聞きます。水分補給をし暑さ対策をして下さい。学園通信二五五号では、初めての試みでPTA会長、一学年二学年三学年の代表の対談内容を載せております。また、学年行事やオーストラリア、アメリカからの留学生を迎えるの内容など盛りだくさんとなっております。

私達広報委員会では、学園での出来事を、より多くお伝えしていきたいと思っております。今年一年、宜しくお願致します。

(土屋 淳子)

九里祭

10:00～15:00

8月30日(金)31日(土)

土曜日は一般公開です